

## 諸外国と最高裁判所

### 「最高裁判所と世界の国々の交流」

「最高裁判所と世界の国々の交流」と言っても、ぴんとこない人が多いかもしれませんが、最高裁判所には、世界各国から、裁判官のような司法関係者だけでなく、新聞記者や学生などいろいろな人がやって来ます。

また、日本の裁判官や裁判所職員も、国際会議への参加、各国の司法制度や司法事情の調査及び研究のため、海外へ派遣されたり、外国を訪問したりしています。

### 【最高裁判所を訪問する人々】



裁判所は、国家権力のうち司法権を司る機関として、世界のどの国家にもほぼ共通して存在していますので、程度に差はあっても、どの国の人も司法制度や裁判所に興味があるとってよいでしょう。

最高裁判所を訪問する外国の人々には、日本に滞在中、日本の裁判所に興味がわき、最高裁判所を見てみたいと思った人や、石造りの建物に好奇心を持ち、見学したいというような人から、東洋の国でありながら西洋的な法制度を受け入れ、法治

国家として安定した社会を作ってきた日本の裁判制度の研究等のため、その象徴としての最高裁判所を訪ね、制度説明を求める人まで、様々な方がいます。

平成3年から平成7年までの5年間について見ると、最高裁判所を訪問した外国人の数は年平均860人余、属する国は62箇国にも及びます。

地域別にはアジアからの訪問者が最も多く、その中でも特に中国、韓国、タイやモンゴルからの訪問者が目立ちます。また、国家の民主化に対応した法の整備等を目的として、ベトナムやカンボディアなどのアジアの国々やブルガリア、ハンガリーなどの旧東欧諸国からの訪問者が増加しています。



このような各国からの訪問者について、最高裁判所としては、少しでも日本の司法制度を理解してもらえるように、資料の配布や分かりやすい説明等を行うよう努力しています。

## 【最高裁判所から派遣される人々】

最高裁判所判事を含む多くの裁判所関係者が、最高裁判所から海外へ派遣されたり、外国を訪問したりしています。

その目的は、国際裁判官協会会議など世界の裁判官を主体とする重要な国際会議への参加、民事訴訟制度や陪審制度など諸外国の制度の研究、さらに、裁判の国際化に対応できるように幅広い視野と国際性を身に付けることなど多様です。

### 最近5年間の諸外国との交流状況

—地域別に見た最高裁判所訪問者の状況—



訪問者の属する国々

アジア地域		
イスラエル	イラン	インド
ヴェトナム	韓国	カンボディア
サウジアラビア	シンガポール	スリ・ランカ
タイ	中国	トルコ
ネパール	パキスタン	パレスチナ
バングラデシュ	フィリピン	ブルネイ
香港	マレーシア	モンゴル
ロシア		
北米地域		
カナダ	米国	メキシコ
欧州地域		
アイルランド	イタリア	英国
オーストリア	オランダ	キプロス
スウェーデン	スペイン	ドイツ
ハンガリー	フィンランド	フランス
ブルガリア	ベルギー	ポルトガル
中南米地域		
アルゼンティン	ウルグアイ	エクアドル
エル・サルバドル	グアテマラ	コスタ・リカ
コロンビア	ニカラグア	パナマ
ブラジル	ペルー	ボリヴィア
ホンデュラス		

アフリカ地域		
ガーナ タンザニア	ザンビア 南アフリカ	ジンバブエ
オセアニア地域		
オーストラリア	ソロモン諸島	